



お お とり 大 鴻

令和元年 5月27日
文責：校長 森脇 郷子

限界に挑戦 体育大会！

5月21日、グラウンドの整備を朝から行い、苦勞して開催した体育大会。各軍の「爛靱暁翔(らんじんぎょうしょう)」のスローガンのもと、天候不順で3日延期という逆境を打ち破り全校生徒が力を尽くしました。



急遽開いた、体育大会前日集会で、実行委員長の3年奥田奈緒さんが「120%の力を出し、最高の体育大会にしましょう。きっとできるはずです。」と全校生徒に精いっぱい思いを伝えました。その思いに応えるように、応援団・実行委員・種目責任者を中心に皆がひたむきに頑張り、全力を出し切る素晴らしい大会でした。結果は、四色対抗リレーを制した黄軍が総合優勝を勝ち取りました。

体育大会開きから本番までの練習の期間、1日1日、力の限りの努力を積み重ね、限界を、昨日までの自分たちを超える、大きな成長を遂げた体育大会でした。



教育実習が始まりました

今年度は、学部編成により教育実習の様子が大きく変わりました。約100名の教育学部実習生が、5/22から1週間、観察実習を行います。また、10月下旬から11月中旬にかけて、50名ずつに分かれ、2週間の実習を行います。

今年から、理工学部の学生も教育実習を附属中で行います。5/13から2週間18名の学生が、数学や理科の教員になるために挑戦しています。



質の高い授業に向けて

附属中学校では、質の高い授業を行うために、先生方は研究や研修を通して授業力を磨いています。

9月20日の研究発表会では8名の先生が授業を公開し、講師として澤井陽介氏(国士館大学教授)をお招きする予定です。

また、授業公開日(年8回)を設け、大分大学や他大学の著名な先生や県教育委員会の指導主事、文部科学省の調査官をお招きし、一流の講師陣から助言やご指導いただき、先生方の授業力を高めます。

これらの研修はすべて、県内外の先生方が自由に参加でき、共に研鑽できる場を積極的に提供し、地域のモデル校としての使命を果たします。

※ポスターはHPに掲載しています

九附連大分大会終了

5月10・11日、平成30年度九附連大分大会の締めくくりとなる、総会及び実践活動協議会が開催されました。「九州から改革の風を～その先にある子どもたちの未来のために～」をテーマに、1年間大分附属学校園PTAが主管となり、会の企画・運営を行っていただきました。

九州各地の附属校園の活動報告や、ピアニストの伊藤京子氏、アフリカンサファリ専門獣医の神田岳委氏による記念講演など充実した大会でした。

教育後援会長会も新たに発足し、附属の支援体制が益々高まり感謝しています。



◇◇◇ 6月の諸活動 ◇◇◇

- 6/11 中体連激励会
- 6/12 市中体連総体(～14日)
- 6/19 中間考査
- 6/26 3年合宿学習(～28日)
- 6/27 1・2年茶道教室(～28日)